

ナミビア日より

Mpandu(パンドウ) インタラ・コンバインド・スクール

2018年度1次隊 おんど じたい せいねんかいがいきよりよくたい 青年海外 協力隊 酒井 剛祐

一年の終わり、そして新たな旅立ち。

6年生のみなさん、もう少しで宇品小学校を卒業しますね。つつい気持ちりが浮かれてしまいがちですが、最後だからこそ6年間お世話になった学校、教室、先生方への感謝の心を忘れないでほしいと思います。また、今の学級で生活することも残りわずかです。悔いが残らないように、一日一日を大切に過ごしてくださいね。

話は全く変わりますが、今回は酒井先生の家の様子を伝えようと思います。酒井先生が日々どのように生活しているか、また日本とどんなところが違うか考えてもらえると嬉しいです。

①酒井先生の家

最近、家の周りの草抜きをしました。なんでも、放っておくとそのうちへびが出るらしいです。奥に見える建物は幼稚園です。朝から晩まで小さな子どもたちが元気よく遊んでいます。

隣の家は教頭先生が住んでいます。洗濯のたらいが無くなってあたふたしていると、教頭先生が使っているなんてこともよくあります。ここでは物が少ないので、一人の物はみんなで使おうという考えが根強いみたいです。



②ベッド

先生のベッドにはかや(蚊から守ってくれるあみ)をつけてます。アフリカの一部などには、マラリア原虫(人間の体に入るとすごく高い熱が出るこわい虫)を持っている蚊がいます。そのため、蚊にかまれないようにベッドを工夫しています。蚊以外にも、ガ、アリ、バッタ、見たこともないたくさんの虫が家の中に入ってくため、日々先生は虫と戦ってます。



③勉強づくえ

家に帰ってきたら、ここでご飯を食べたり、仕事をしたりしてます。

最近はこちらの本を使って英語の勉強をしています。30歳すぎてもまだまだ勉強することはたくさんあります。みんなも興味があることをどんどん勉強してみよう。



④台所、冷蔵庫

先生の家には、オーブンやコンロ、冷蔵庫もあります。普段はカレーやパスタなどを作っていますが、時々同僚の先生と一緒にチキンやマハング（とうもろこしみたいなもの）を食べることもあります。この前は一緒にお好み焼きを作り、同僚の先生に食べてもらいました。

「Okonomiyaki is very nice!!」と大絶賛でした。



⑤水、電気

水道も電気も家の中にはありますが、本当によく電気が止まったり、水が出なくなったりします。そのため、水をタンクの中に入れて保管しています。水が出なくなったときは、この水で料理をしたり、シャワーをしたり、トイレを流したりします。電気が止まってしまったときは、太陽の光で充電したり、懐中電灯で生活します。日本では考えられないことですね。（*^^*）



常に 30L くらいの水を持っています。

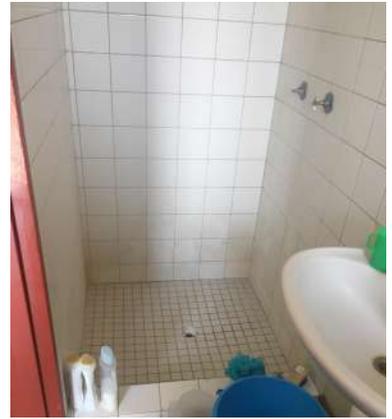


この機械で電気を買います。

⑥お風呂

お風呂にはシャワーしかありません。さらに、お湯も出ないため、冷たい水で体を洗います。みんなの家がもしこうだったら、とってもいやですね。

それでも、酒井先生は水が出るだけでとてもありがたいなと思えるようになりました。家の周りに住んでいる子どもたちや先生の家には、シャワーはおろか水道すらありません。そのため、バケツに水を入れてそれを体にかけるくらいしかできないのです。水が出ないときは、もちろんお風呂に入ることにはできません。日本での生活は本当に恵まれていたんだと思う日々です。



⑦洗濯

最後は洗濯です。もちろん、洗濯機はないので手で洗います。たらいに水をためて、洗剤を入れて、手でごしごし洗います。

みんなももし時間があればやってみてください。洗濯機がいかに素晴らしいものか分かるはずですよ。（*^^*）本当に便利。

ナミビアのすごいところは、洗濯物がすぐに乾くことです。ナミビアは湿度（空気に含まれる水の多さ）が少ないため、洗濯物を干しておくと、1~2時間くらいすると乾きます。



①水をためる



②洗濯物を入れる



③洗剤を入れる



④洗う+すすぎ



⑤干す（できあがり）

※全部で大体 20~30 分くらいはかかります。